

平成 2 5 年度

# 白山浦庁舎 7 号棟耐震補強工事

新潟市建築部公共建築第 1 課

図面リスト											
意 匠			構 造			電 気			機 械		
番 号		縮 尺	番 号		縮 尺	番 号		縮 尺	番 号		縮 尺
A-01	図面リスト	—	S-01	構造標準図（鉄骨造耐震補強 鉄骨ブレース工事）	—	E-01	電灯設備 4階平面図（改修前後）	1/100	M-01	機械設備 仕様書・機器表（改修前後）	—
A-02	特記仕様書（1）	—	S-02	4階RC壁柱型4階梁伏図	1/100	E-02	コンセント・非常照明・誘導灯・空調電源設備 4階平面図（改修前後）	1/100	M-02	機械設備 配管系統図（改修前後）	—
A-03	特記仕様書（2）	—	S-03	4階S柱R階床梁伏図	1/100	E-03	空調電源設備 屋上平面図（改修前後）	1/100	M-03	機械設備 4階平面図（改修前後）	1/100
A-04	特記仕様書（3）	—	S-04	A・B通り軸組図	1/100	E-04	弱電設備 4階平面図（改修前後）	1/100	M-04	機械設備 屋上平面図（改修前後）	1/100
A-05	特記仕様書（4）	—	S-05	鉄骨梁間詳細図（補強後）	1/30, 1/15	E-05	自動火災報知設備 4階平面図（改修前後）	1/100	M-05		
A-06	配置図・案内図、外部仮設計画図	1/300	S-06	A・B通り鉄骨詳細図（補強後）	1/30, 1/15	E-06			M-06		
A-07	外部・内部仕上表	—	S-07	鉄骨屋根ブレース詳細図（補強後）	1/30	E-07			M-07		
A-08	各階平面図	1/200	S-08	既存リスト	1/30	E-08			M-08		
A-09	立面図・断面図	1/200	S-09			E-09			M-09		
A-10	4階改修平面図	1/100	S-10			E-10			M-10		
A-11	4階改修天井伏図	1/100	S-11			E-11			M-11		
A-12	補強詳細図（A通り）	1/30	S-12			E-12			M-12		
A-13	補強詳細図（B通り）	1/30	S-13			E-13			M-13		
A-14	展開図（1）	1/100	S-14			E-14			M-14		
A-15	展開図（2）	1/100	S-15			E-15			M-15		
A-16			S-16			E-16			M-16		
A-17			S-17			E-17			M-17		
A-18			S-18			E-18			M-18		
A-19			S-19			E-19			M-19		
A-20			S-20			E-20			M-20		
A-21			S-21			E-21			M-21		
A-22			S-22			E-22			M-22		
A-23			S-23			E-23			M-23		
A-24			S-24			E-24			M-24		
A-25			S-25			E-25			M-25		
A-26			S-26			E-26			M-26		
A-27			S-27			E-27			M-27		
A-28			S-28			E-28			M-28		
A-29			S-29			E-29			M-29		
A-30			S-30			E-30			M-30		
A-31			S-31			E-31			M-31		
A-32			S-32			E-32			M-32		
A-33			S-33			E-33			M-33		
A-34			S-34			E-34			M-34		
A-35			S-35			E-35			M-35		
A-36			S-36			E-36			M-36		
A-37			S-37			E-37			M-37		
A-38			S-38			E-38			M-38		
A-39			S-39			E-39			M-39		
A-40			S-40			E-40			M-40		
A-41			S-41			E-41			M-41		
A-42			S-42			E-42			M-42		
A-43			S-43			E-43			M-43		
A-44			S-44			E-44			M-44		
A-45			S-45			E-45			M-45		

新潟市建築設計協同組合

担当設計事務所  
株式会社 コンフォルト

新潟市建築部公共建築第1課

工事名

白山浦庁舎7号棟 耐震補強工事

図名

図面リスト

年月日 2013.3

縮尺 N.S

図面番号 A-01



4	押出成形(FRP)板 (ECP)	(8.5.2~8.5.4)(表8.5.1)(表8.5.2)			
		加工箇所	表面形状	厚さ(mm)	幅(mm)
・外壁 <sup>※1</sup> 表77711 <sup>※1</sup> 表77712 <sup>※1</sup> ・床 <sup>※2</sup> 表77713 <sup>※1</sup> 表77714 <sup>※1</sup> ・開口部 <sup>※3</sup> 表77715 <sup>※1</sup> 表77716 <sup>※1</sup> ・天井 <sup>※4</sup> 表77717 <sup>※1</sup> 表77718 <sup>※1</sup>		耐火性能	・A種 ・B種 ・無し		
9	アスファルト防水	(9.2.2)(9.2.3)(表9.2.3)(表9.2.8)			
・A-1-2 ・A-2 ・D-2 ・B1-2 ・B2-2		施工箇所	・防水層 ・断熱層 ・保護層		
アスファルト ※3種 断熱工法の断熱材 厚さ(mm) ※25mm ・公示 断熱工法の断熱材 厚さ(mm) ※130mm・公示		耐水性能	・A種 ・B種 ・無し		
乾式張り工法の材料 ・押出成形(FRP)板 ※1種 ・接着剤 ※1種 ・保護層 ※1種		施工箇所	・防水層 ・断熱層 ・保護層		
・A-1-2 ・A-2 ・D-2 ・B1-2 ・B2-2		施工箇所	・防水層 ・断熱層 ・保護層		
アスファルト ※3種 断熱工法の断熱材 厚さ(mm) ※25mm ・公示 断熱工法の断熱材 厚さ(mm) ※130mm・公示		耐水性能	・A種 ・B種 ・無し		
乾式張り工法の材料 ・押出成形(FRP)板 ※1種 ・接着剤 ※1種 ・保護層 ※1種		施工箇所	・防水層 ・断熱層 ・保護層		
・A-1-2 ・A-2 ・D-2 ・B1-2 ・B2-2		施工箇所	・防水層 ・断熱層 ・保護層		

11	タイル張り工事	内装タイル ・壁タイル接着剤張り ・改良床上げ張り (11.3.3)(表11.3.2) 外装タイル ・窓枠張り ・マス張り 下地モルタル塗り ※接着剤15.2.2~15.2.5 工法の試験等 ※行わない ・行う ※外装タイル
3	コンクリート素地の処理	※RC工法又は吹付け工法(ポリマーセメントモルタル下地) (11.3.3)
4	陶磁器質タイル貼付工法	(11.2.2)(11.4.2)(表11.4.1)
適用タイル 種別 色合い ・フロアタイル ※1種 ・壁タイル ※1種 ・大形タイル ※1種		施工箇所 ・床 ・壁 ・天井
④	木材の品質	※仕様12.2.3による 保存処理木材の適用箇所 ※12.2.1(b)による 材料 ※A種押出材 <sup>※1</sup> ・B種 <sup>※2</sup> ・C種 <sup>※3</sup>
⑤	断熱	※仕様12.2.3によるほか、断熱のうち材は「断熱材ブランド」を使用する ・使用断熱材を使用しない箇所
3	集塵材	品名 規格・品質 窓材の種類 化粧断熱の層種 ・集塵材 ※1種 ・集塵材 ※1種 ・集塵材 ※1種
④	接着剤	接着剤に含まれる可塑剤は、揮発性のものとする。
5	防湿・防湿処理	防湿処理 ※行う(適用範囲 ※仕様12.2.8(c)による) ・公示 (12.2.8) 防湿処理 ※行う(適用範囲) (12.2.9) 防湿・防湿処理、 <sup>※1</sup> 942等を含むない珪藻土系の表面処理用材料を併用する。種類及び品質等が確認できる資料を監査員に提出し承認を受ける。
1	金属板張	長尺金属板の種類 厚さ(mm) ・長尺金属板55%741:942型合金のつき鋼板 ※0.4 ・長尺金属板55%741:942型合金のつき鋼板
2	折板張	形式 ※直線形 ・はね折形 ・かま合形 形状(mm) 幅(mm) 山E(mm) 底厚(mm) 0.6 ・ 0.8 材料 ※塗装済55%741:942型合金のつき鋼板 (規格等) 耐水性能 ※30分耐火 ・無し
3	とい	材質 ※配管用鋼管 ・硬質塩化ビニル管 (13.5.1) ・944 <sup>※1</sup> 硬質ポリ塩化ビニル管(実用管) 管製といの防湿 ※仕様13.5.4による 開口部 ・有り ・無し
④	と	※適用する。 (14.1.3) ・A種 ・B種 ・無し
1	天然石張り	石の品質 (10.2.1) ・床用石材 ※2等品 ・1等品(施工場所) ・壁及びその他の石材 ※1等品 ・2等品(施工場所) 石の種類・表面仕上げ (10.2.1)(表10.2.1)(表10.2.2) 施工箇所 種類 産地・名称 厚さ(mm) 仕上げの種類
2	タラシ張り	種別 ※大粒石 (10.2.1) 表面仕上げ ※本磨き (表10.2.2) 床石の裏面処理 ・行う (10.6.2) 壁内のフラス掛け ・行う (10.1.5)
11	陶磁器質タイル張り工事	貼付工法 耐水性能 色合い 形状 厚さ ・A種(厚さ6.0mm以上) ・B種(厚さ3.2mm以上) ・C種(厚さ1.6mm以上) ・D種 ・E種 ・F種

⑤	軽金属天井下地	天井の構造形式及び寸法 (14.4.3)(表14.4.2) 下記に示すは、仕様14.4.3及び表14.4.2による 下地材の種類(mm) 施工箇所 野縁系、吊り下 <sup>※1</sup> 、吊り下 <sup>※2</sup> 野縁 野縁 中継部 閉閉部
6	金属成形野縁	形状 製法 材質 寸法(mm)厚さ(mm) 表面処理 ・A <sup>※1</sup> ・B <sup>※2</sup> 形 押出し ※741295鋼 野縁系 ・B <sup>※2</sup> 形 押出し ※741295鋼 野縁系 ・A <sup>※1</sup> ・B <sup>※2</sup> 形 押出し ※741295鋼 野縁系
7	741295鋼窓木	伸縮調整手 ※設けない ・設ける(施工箇所は明示) オープン形式アルミニウム製窓木の種類 (14.2.2~3)(表14.2.1)(表14.2.1)
8	手すり及びタラップ	種類 材料の種類 構造 設置位置 ・手すり ※22x22x304 ※H.L.程度 ・壁面固定 ・手すり ※22x22x304 ※H.L.程度 ・壁面固定 ・手すり ※22x22x304 ※H.L.程度 ・壁面固定
⑤	床コンクリートの置付け仕上げ	下地以外は仕様2.6.2.4及び仕様15.3.2による(表6.2.4)(15.3.1)(15.3.2) 施工箇所 厚さ(mm) 備考 2F~7F <sup>※1</sup> 297(A <sup>※1</sup> 積層法)範囲 1mにつき10以下 塗料塗りの場合も含む 2F~7F <sup>※1</sup> 297(B <sup>※1</sup> 積層法)範囲 3mにつき7以下
2	仕上り材料仕上げ	種類 呼び名 仕上り形状 ・滑り性仕上げ材 ・外装用滑り性仕上げ材 ・外装用滑り性仕上げ材 ・内装用滑り性仕上げ材 ・内装用滑り性仕上げ材
⑤	1	特殊な部品の取組等(器具番号) (16.1.4)
⑤	2	防湿断熱材の種類 (16.1.6) ※適用する(適用部品及び適用位置は明示による)
3	741295鋼器具	種類 耐熱性能 気密性能 水密性能 寸法(mm) 施工箇所 ・A種 S=4 ※A=3 ※W=4 ※70 ・B種 S=5 ・C種 S=6 A=4 W=5 1.0
⑤	1	見本の製作等 (16.1.4)
⑤	2	防湿断熱材の種類 (16.1.6) ※適用する(適用部品及び適用位置は明示による)
⑤	3	741295鋼器具 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)
⑤	4	防湿断熱材の種類 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)
⑤	5	防湿断熱材の種類 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)
⑤	6	防湿断熱材の種類 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)
⑤	7	防湿断熱材の種類 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)
⑤	8	防湿断熱材の種類 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)
⑤	9	防湿断熱材の種類 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)
⑤	10	防湿断熱材の種類 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)
⑤	11	防湿断熱材の種類 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)
⑤	12	防湿断熱材の種類 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)
⑤	13	防湿断熱材の種類 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)
⑤	14	防湿断熱材の種類 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)

⑤	1	防湿断熱材の種類 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)
⑤	2	防湿断熱材の種類 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)
⑤	3	防湿断熱材の種類 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)
⑤	4	防湿断熱材の種類 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)
⑤	5	防湿断熱材の種類 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)
⑤	6	防湿断熱材の種類 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)
⑤	7	防湿断熱材の種類 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)
⑤	8	防湿断熱材の種類 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)
⑤	9	防湿断熱材の種類 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)
⑤	10	防湿断熱材の種類 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)
⑤	11	防湿断熱材の種類 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)
⑤	12	防湿断熱材の種類 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)
⑤	13	防湿断熱材の種類 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)
⑤	14	防湿断熱材の種類 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)
⑤	15	防湿断熱材の種類 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)
⑤	16	防湿断熱材の種類 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)
⑤	17	防湿断熱材の種類 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)
⑤	18	防湿断熱材の種類 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)
⑤	19	防湿断熱材の種類 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)
⑤	20	防湿断熱材の種類 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)
⑤	21	防湿断熱材の種類 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)
⑤	22	防湿断熱材の種類 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)
⑤	23	防湿断熱材の種類 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)
⑤	24	防湿断熱材の種類 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)
⑤	25	防湿断熱材の種類 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)
⑤	26	防湿断熱材の種類 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)
⑤	27	防湿断熱材の種類 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)
⑤	28	防湿断熱材の種類 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)
⑤	29	防湿断熱材の種類 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)
⑤	30	防湿断熱材の種類 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)
⑤	31	防湿断熱材の種類 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)
⑤	32	防湿断熱材の種類 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)
⑤	33	防湿断熱材の種類 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)
⑤	34	防湿断熱材の種類 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)
⑤	35	防湿断熱材の種類 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)
⑤	36	防湿断熱材の種類 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)
⑤	37	防湿断熱材の種類 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)
⑤	38	防湿断熱材の種類 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)
⑤	39	防湿断熱材の種類 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)
⑤	40	防湿断熱材の種類 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)
⑤	41	防湿断熱材の種類 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)
⑤	42	防湿断熱材の種類 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)
⑤	43	防湿断熱材の種類 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)
⑤	44	防湿断熱材の種類 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)
⑤	45	防湿断熱材の種類 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)
⑤	46	防湿断熱材の種類 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)
⑤	47	防湿断熱材の種類 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)
⑤	48	防湿断熱材の種類 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)
⑤	49	防湿断熱材の種類 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)
⑤	50	防湿断熱材の種類 (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)










案内図

設計概要

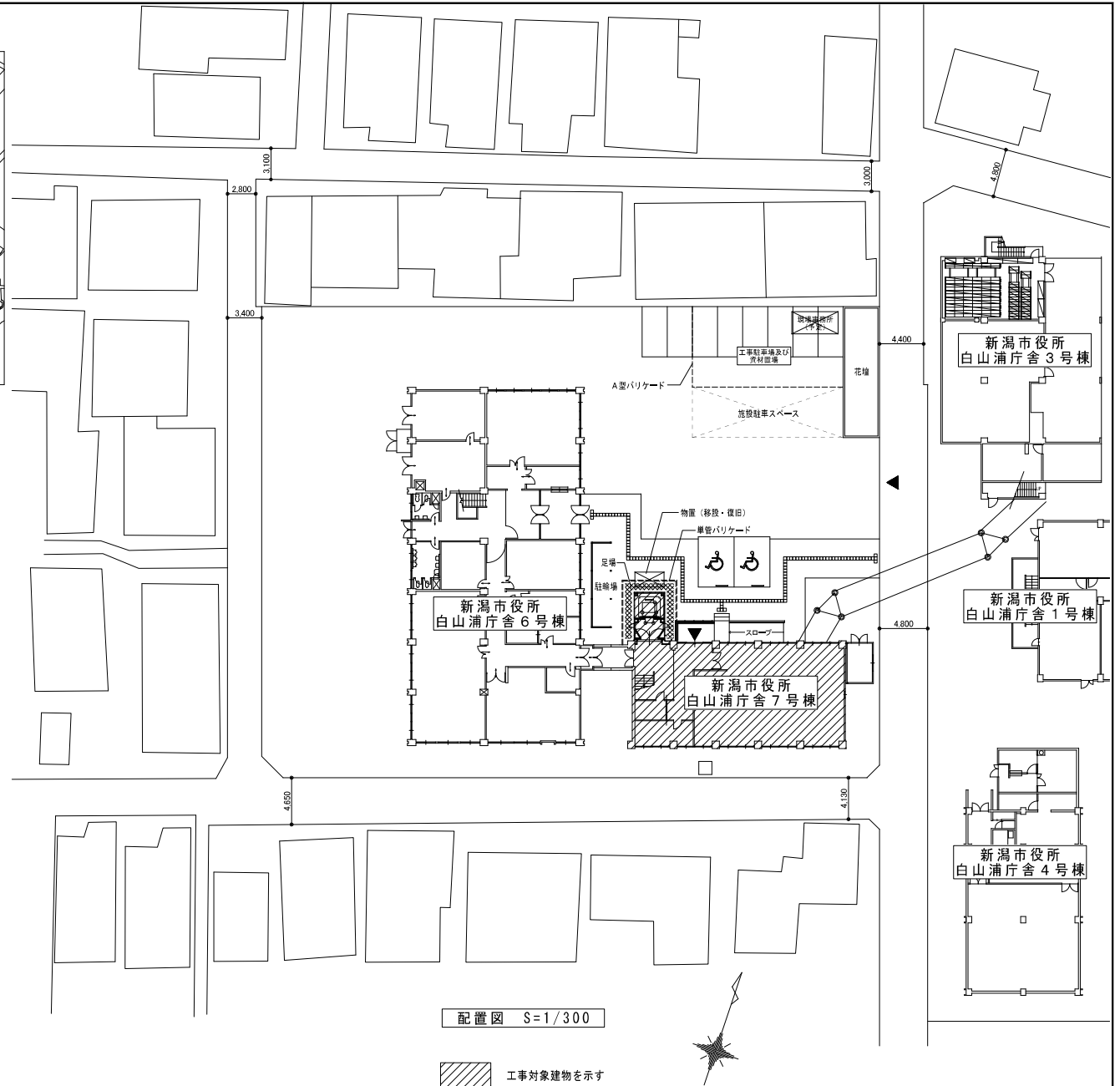
1) 一般事項	
工事場所	新潟市中央区白山浦1丁目地内
建物用途	市庁舎
都市計画区域	都市計画区域内
区域区分	市街化区域
用途地域	近隣商業地域
防火指定	準防火地域
その他の地域・地区	
2) 対象建物概要	
構造概要	RC造3階建て(4階鉄骨造)
最高の高さ	16.00m
最高の軒高	15.40m

凡例


-  : 落下物防止用足場(幅600) 防災シート張り
-  : 単管バリケード
-  : 物置(古布・古着回収用) 移設・復旧  
※R既製品(ヨド物置「エルモ」W2914×D1512×H2120)  
 コンクリートブロック 12ヶ  
 ※移設場所は監督員と協議

特記事項

1. 工事工程において施設を利用しながらの補強工事であることを考慮し、施設利用の運営に配慮すること。
2. 工事によってやむを得ず停電、断水等が発生する場合は、事前に日時について施設管理者及び監督員と協議すること。
3. 施設利用者及び近隣住民の危険防止対策を十分行い、安全誘導員を配置するなど安全確保に努めること。
5. 音や振動の発生する作業は、休館日(土・日曜日)とする。また、一日の作業時間は原則として8:30~18:00までとする。



配置図 S=1/300

 工事対象建物を示す

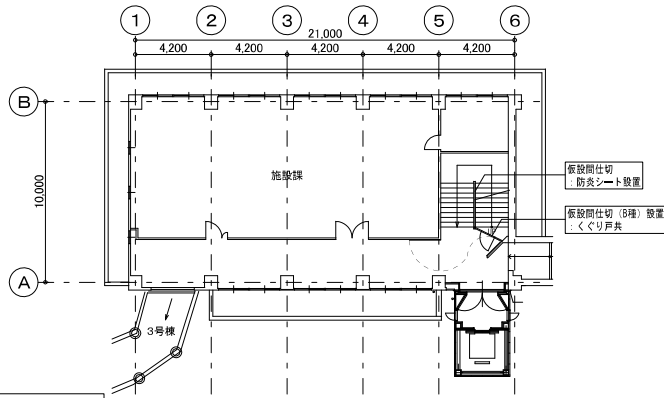
外部仕上表 (4階部分)		改修前		撤去	下地調整	改修後		新規仕上	備考	
箇所	部位									
屋根	4階屋上	豆粒利コンクリート t=60 防水層 (A=1工法) 豆粒利コンクリート t=50 (ワイヤメッシュ敷込) デッキプレート t=50						現状のまま		
	屋根	VP 100φ (角ます付)							現状のまま	
	笠木	アルミ笠木							現状のまま	
外壁	一部	ALCパネル 吹付タイル 合成樹脂エマルジョン系						現状のまま		
	残壁	モルタル粗毛引き						現状のまま		
屋外階段		鉄骨階段						現状のまま		

内部仕上表														
階	室名	床	巾木	H	壁・柱型	梁型	天井	屋根	天井高	室名札 種別 数量	黒板・掲示板	カーテン・ブラインド	天井 吊钩口 数量	備考
4階	会議室	既存	200→下地 Pタイル貼		100	木軸下地 石膏ボード t=9.0張り 塗装仕上	LGS下地 化粧石膏ボード 910×910×9.5張り	塩ビ 張りり縁	2780			ブラインド: M1750×H1995 5ヶ所 (取外し・再取付) (手動11型) M1985×H1995 1ヶ所 (取外し・再取付) M1750×H2350 (傾斜47°) 4ヶ所 (現状のまま)	3 (撤去)	天井ボックサ撤去
		改修	仕上撤去 (一部) ビニル床材 t=2.0貼 RCつなぎ梁: コツコツ打放し補修 EP-G塗	既存撤去 (一部) 木製 EP-G塗	100	木軸下地 GB-R t=9.5張り EP-G塗	LGS下地 GB-D t=9.5張り	塩ビ 張りり縁 新設					4 (新設)	
	倉庫 (青写真室)	既存	200→下地 Pタイル貼		100	木軸下地 化粧石膏ボード (木目) t=9.5張り	LGS下地 化粧石膏ボード 910×910×9.5張り	塩ビ 張りり縁	2800			ブラインド: M1750×H2350 (傾斜47°) 3ヶ所 (現状のまま) (手動11型)		
		改修	仕上撤去、ビニル床材 t=2.0貼 砂利塗 t=20 (段差解消) の上へ 18床材 t=2.0貼 (一部) RCつなぎ梁: コツコツ打放し補修 EP-G塗	既存撤去 (一部) 木製 EP-G塗	100	木軸下地 GB-R t=9.5張り EP-G塗	LGS下地 GB-D t=9.5張り	塩ビ 張りり縁 新設	2800 2780					階段消止の 新設
	倉庫 (便所)	既存	防水樹脂下地 Pタイル貼			ブツク塗 厚: 36角タイル貼 H=1500	LGS下地 化粧石膏ボード 910×910×9.5張り	塩ビ 張りり縁	2800					
改修	現状のまま		壁紙剥離 (一部) ビニル巾木	60	LGS下地 GB-R t=9.5張り EP-G塗	LGS下地 GB-D t=9.5張り	塩ビ 張りり縁 新設						壁: 換気取付口蓋ぎ	
廊下	既存	200→下地 Pタイル貼		100	木軸下地 化粧石膏ボード (木目) t=9.5張り	LGS下地 化粧石膏ボード 910×910×9.5張り	塩ビ 張りり縁	2800						天井ボックサ撤去 器具782φ 24取付 (782φ 24 → FL3)
	改修	仕上撤去 (一部) ビニル床材 t=2.0貼 RCつなぎ梁: コツコツ打放し補修 EP-G塗	既存撤去 (一部) 木製 EP-G塗	100	木軸下地 化粧石膏ボード (木目) t=9.5張り	LGS下地 GB-D t=9.5張り	塩ビ 張りり縁 新設							
階段室	既存	200→下地 Pタイル貼		100	砂利塗 塗装仕上 一部、LGS下地 石膏ボード t=9.0張り 塗装仕上	LGS下地 化粧石膏ボード 910×910×9.5張り	塩ビ 張りり縁	2820						
	改修	仕上撤去 (一部) ビニル床材 t=2.0貼 RCつなぎ梁: コツコツ打放し補修 EP-G塗	塗装改修 (一部) EP-G塗	100	下地共撤去 (一部) LGS下地 石膏ボード t=9.5張り EP-G塗 塗装改修 (既存砂利面) EP-G塗 (一部)	LGS下地 GB-D t=9.5張り	塩ビ 張りり縁 新設							

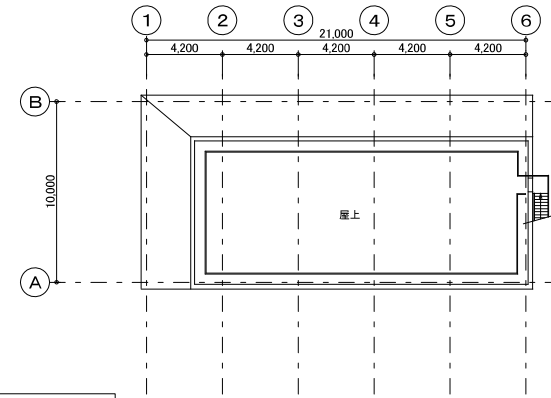
内部仕上記号 凡例						共通事項		特記事項		
RC	鉄筋コンクリート	GB-R	石膏ボード	SOP	合成樹脂調合ペイント	t	厚さ	天井吊钩口	アルミ製 450×450	・塗装塗替えの下部調整は特記なき限りRB種とする。
LGS	軽量鉄骨下地	GB-S	シーリング石膏ボード	EP	合成樹脂エマルジョンペイント	◎	ピッチ			・鉄骨面の塗装塗替え下部調整は特記なき限りRC種とする。
W	木組下地	GB-D	化粧石膏ボード	EP-G	つや有り合成樹脂エマルジョンペイント	φ	直径			・新設鉄骨の見え掛かり部分はEP-G張りとする。
SUS	ステンレス SUS304	GB-P	吸音用穴あき石膏ボード	CL	クリヤラッカー					
人研	人造石研出し	FB	フレキシブルボード	OS	オイルステン					
TB	テラゾブロック	DR	ロックウール化粧吸音板	FE	フタル酸樹脂エナメルペイント					
ST	スチール			PU	ポリウレタン樹脂 3回塗					
AL	アルミ			EP-T	合成樹脂エマルジョン模様塗料					
				FUE	常温乾燥型フッ素樹脂エナメルペイント					

新潟市建築設計協同組合 担当設計事務所 株式会社 コンフォルト		新潟市建築部公共建築第1課		工事名 白山浦庁舎7号棟 耐震補強工事		図名 外部・内部仕上表	
年月日 2013.3		縮尺 N・S		図面番号 A-07			

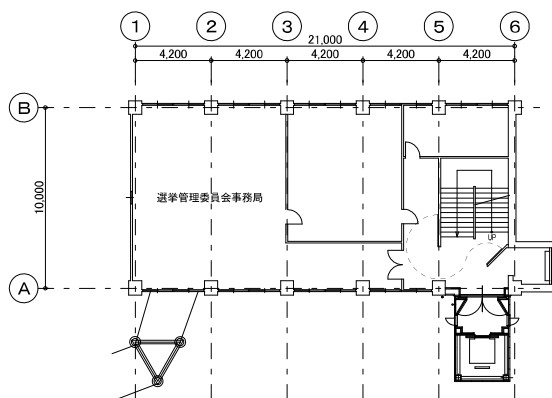




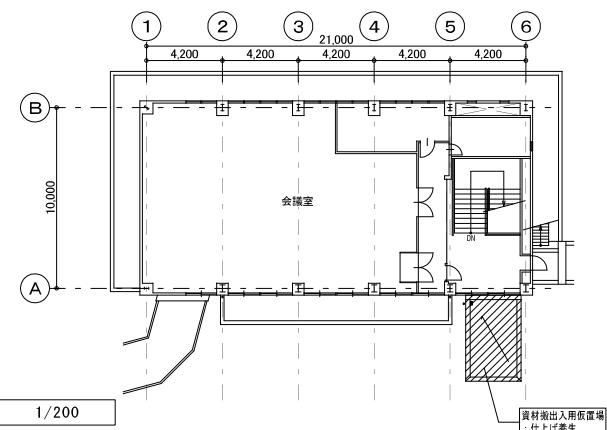
3階平面図 1/200



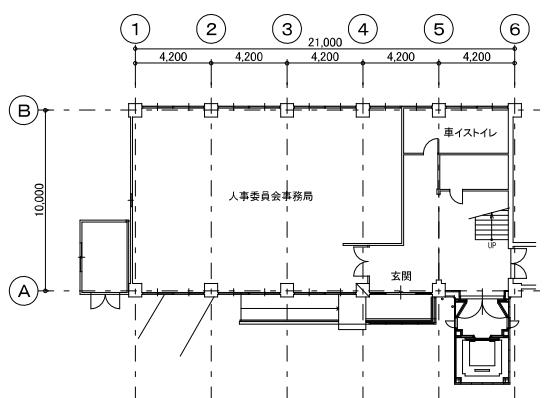
屋根平面図 1/200



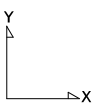
2階平面図 1/200



4階平面図 1/200



1階平面図 1/200

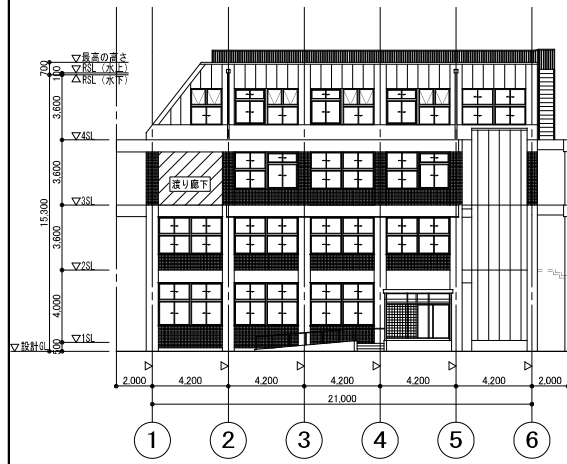


新潟市建築設計協同組合  
 担当設計事務所  
 株式会社 コンフォルト

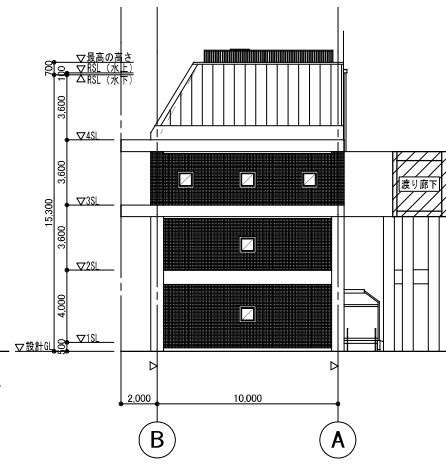
新潟市建築部公共建築第1課

工事名  
 白山浦庁舎7号棟 耐震補強工事

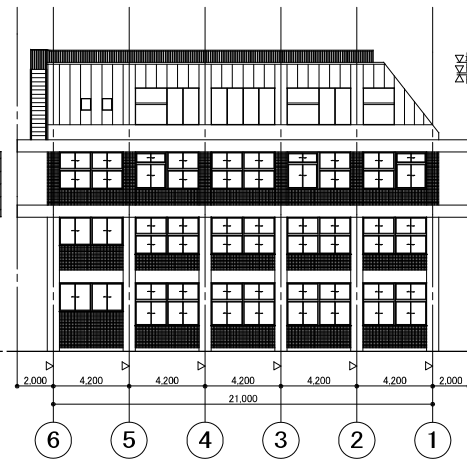
図名  
 各階平面図  
 年月日 2013.3 縮尺 1/200 図番番号 A-08



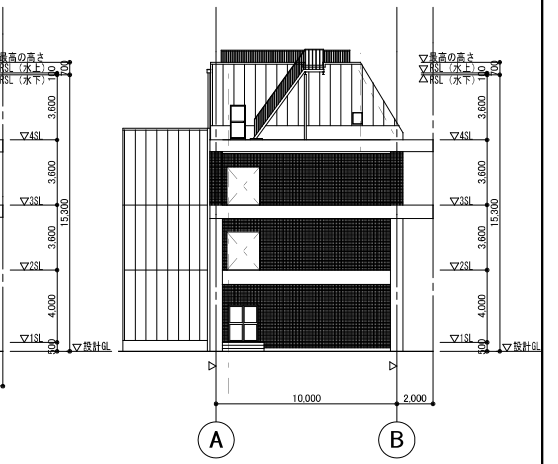
西側立面図 S=1/200



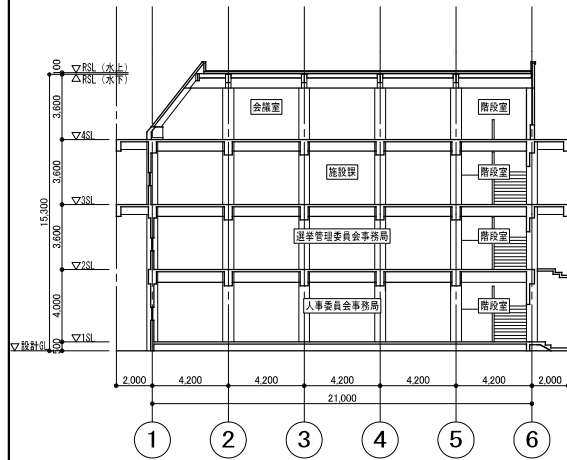
北側立面図 S=1/200



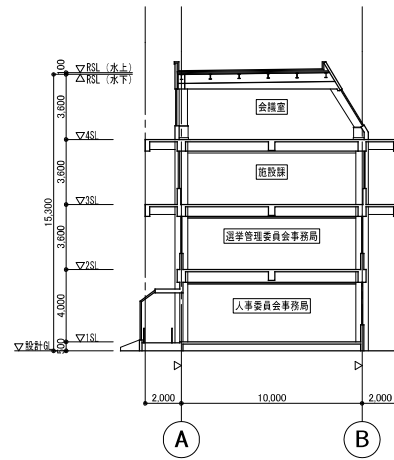
東側立面図 S=1/200



南側立面図 S=1/200



断面図 S=1/200



断面図 S=1/200

新潟市建築設計協同組合  
 [Redacted]

担当設計事務所  
 株式会社 コンフォルト

新潟市建築部公共建築第1課

工事名

白山浦庁舎7号棟 耐震補強工事

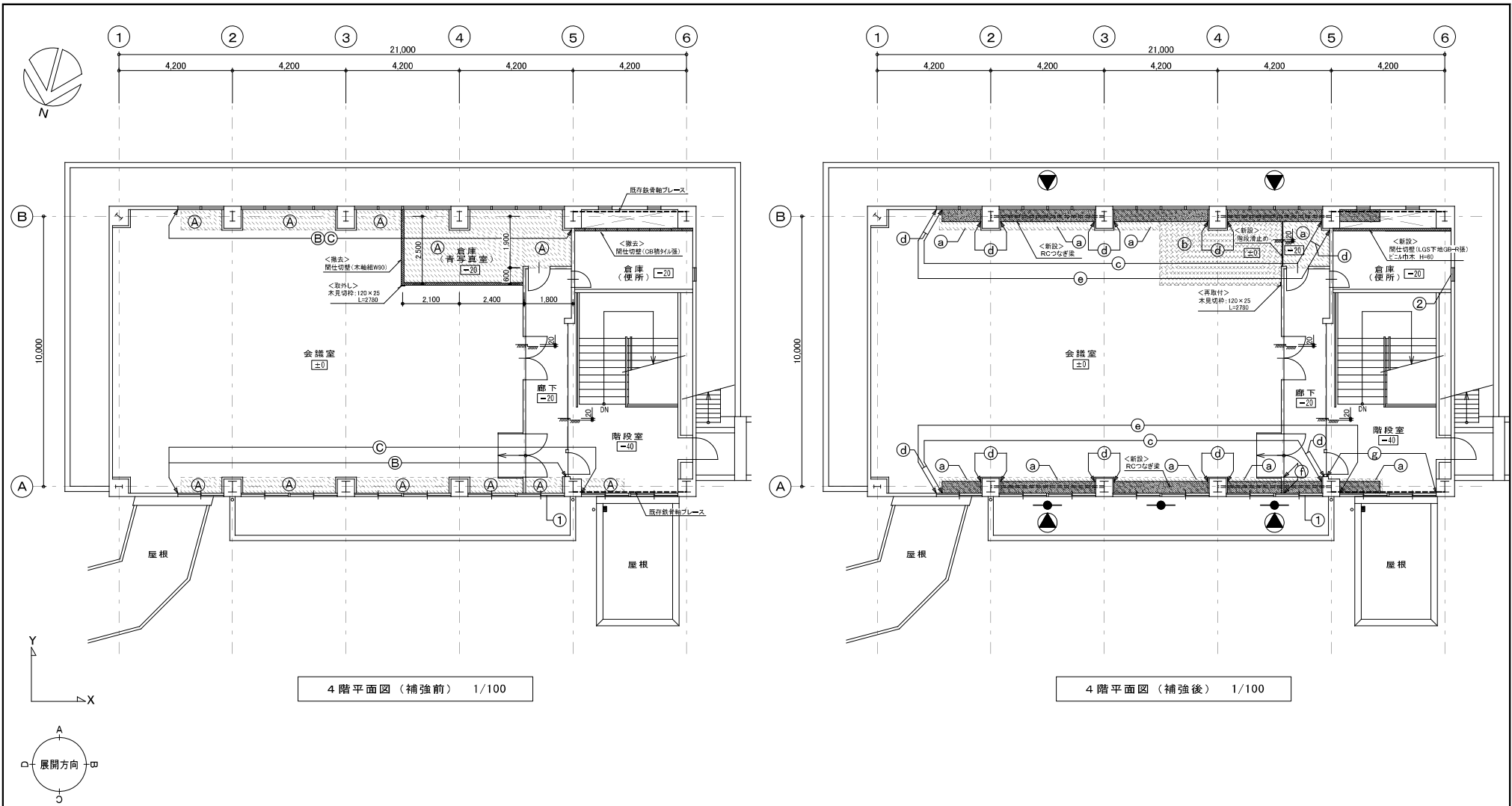
図名

立面図・断面図

年月日 2013.3

縮尺 1/200

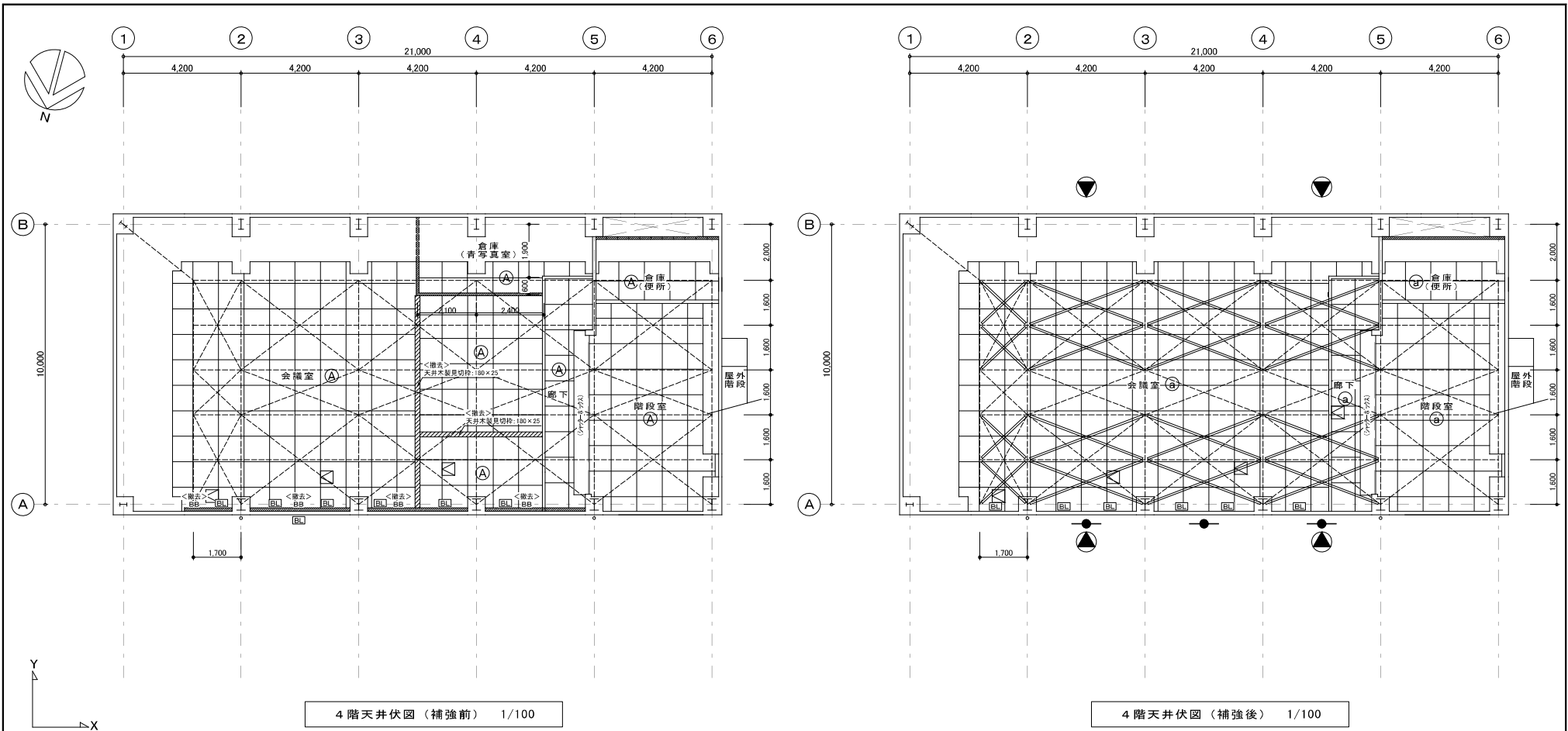
図面番号 A-09



4階平面図（補強前） 1/100

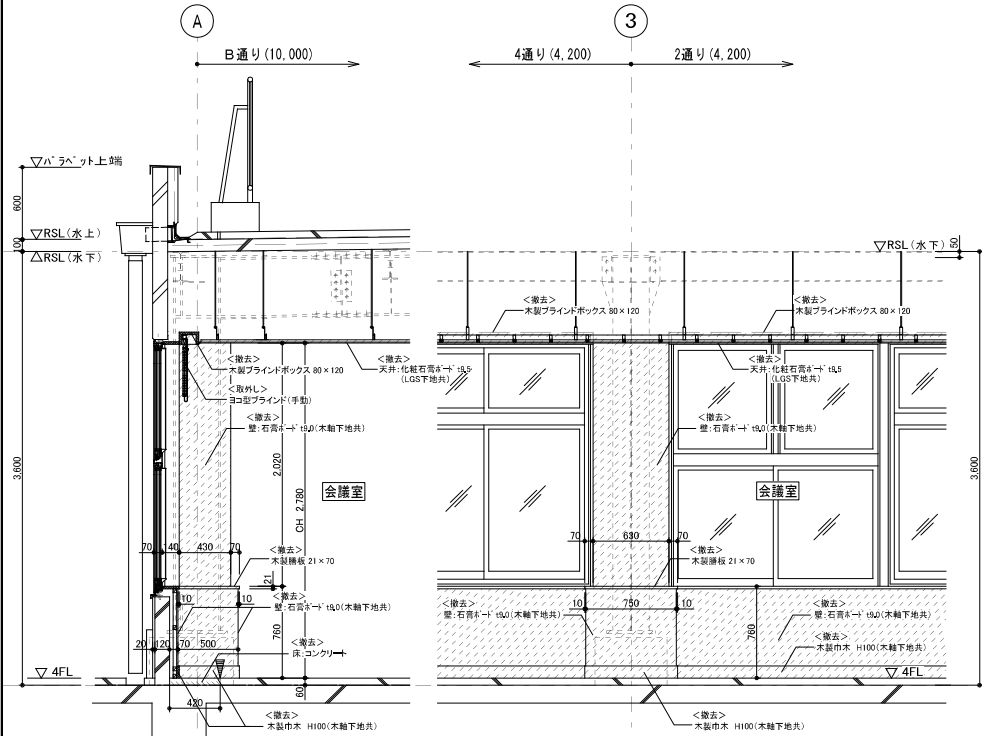
4階平面図（補強後） 1/100

凡例		改修リスト 特記無きものは、下記に依る。					
符号	改修内容 (補強前)	符号	改修内容 (補強後)	符号	改修内容		
	鉄骨軸ブレース新設	(A)	床: Pタイル t2.0 撤去	(a)	床: ビニル床タイル t2.0 新設 (既存撤去面下地調整共)	(1)	建具: 既存アルミハネル 撤去 透明ガラス t3 新設
	鉄骨つなぎ梁新設	(B)	巾木: 木製 (木製下地共) 撤去	(b)	床: ビニル床タイル t2.0 新設 モルタル金1F 厚20 (段差解消)	(2)	窓: 既存窓 (換気取付) 開口 (300角) 撤去 アルミハネル t2.0 ポリスチレンフォーム板 t100充填 (風通し付)
	耐震補強工事に伴う床撤去・新設範囲を示す	(C)	壁・柱壁: 石膏ボード (木製下地共) 撤去	(c)	巾木: ビニル巾木 H=60		
	床レベルを示す			(d)	巾木: 木製 H=100 EP-G塗		
				(e)	壁・柱壁: GB-R t=9.5 EP-G塗		
				(f)	壁: GB-R t=9.5 (木目)		
				(g)	巾木・壁: 塗装改修 (既存EP材面) EP-G塗		



凡例			改修リスト 特記無きものは、下記に依る。					
	鉄骨軸ブレース新設	-----	既存 鉄骨部材を示す (梁伏図)	符号	改修内容(補強前)	符号	改修内容(補強後)	注1: 構造詳細は別紙参照のこと
	鉄骨つなぎ梁新設	=====	新設 屋根ブレースを示す (梁伏図)	(A)	天井:化粧石膏ボード t9.5 撤去 (LGS下地共撤去)	(a)	天井: G B-D t9.5 新設 (LGS下地共新設)	
BB	木製ブラインドボックス 80×120						軽量鉄骨 埋込照明器具: 300×125φ 20箇所 天井点検口: 450×450 4箇所	
BL	ブラインド 取外し・再取付							
	天井点検口 450×450							

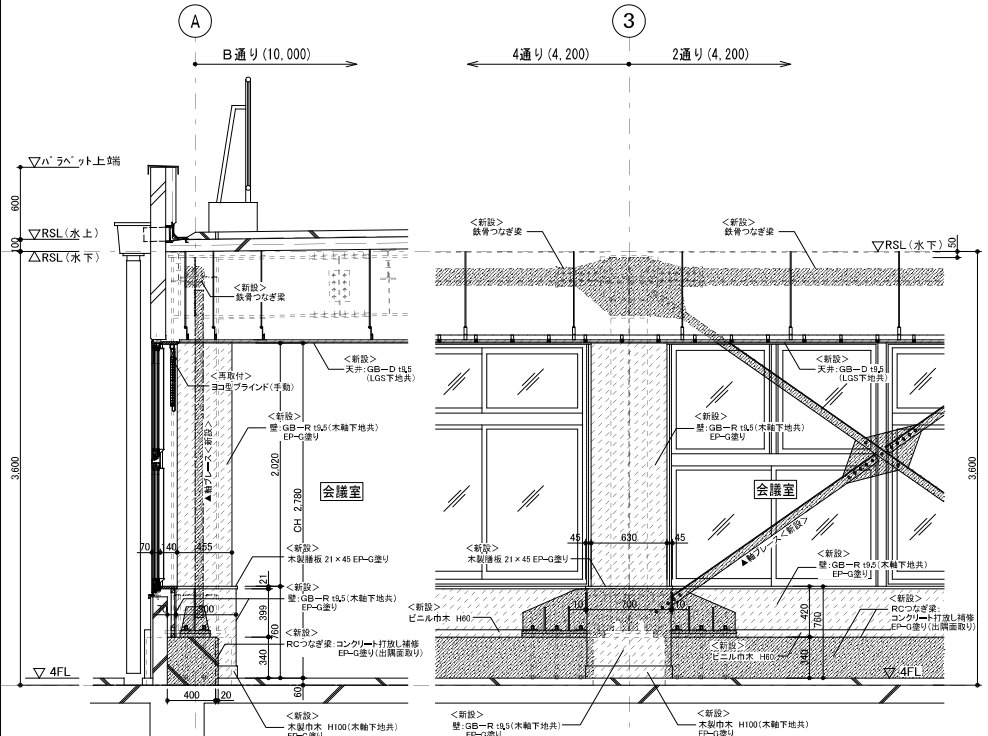
補強前



矩計詳細図 1/30

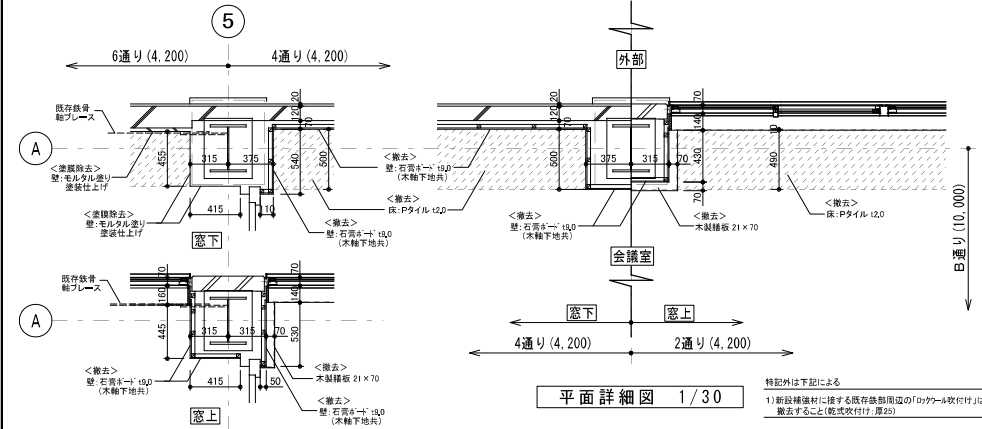
展開断面詳細図 1/30

補強後



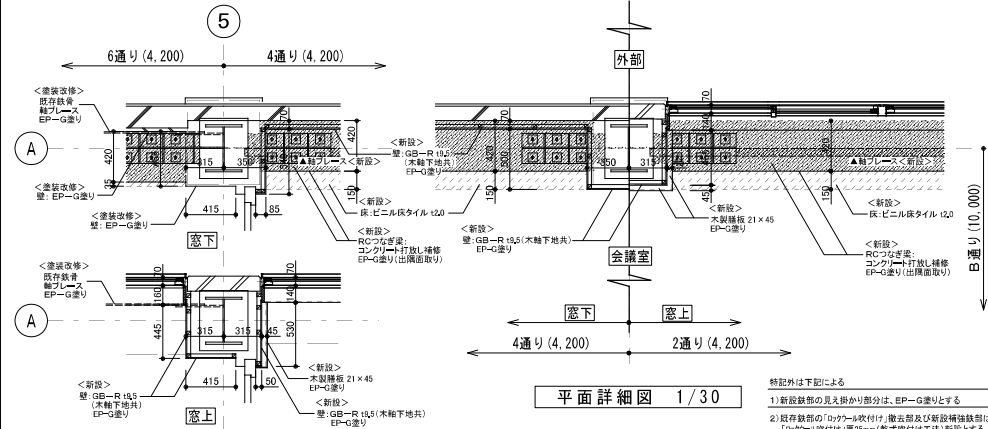
矩計詳細図 1/30

展開断面詳細図 1/30



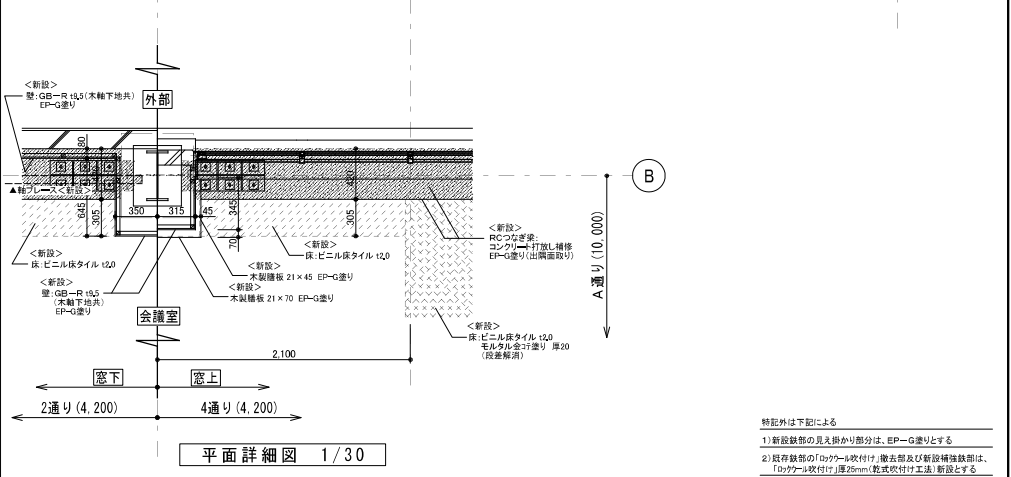
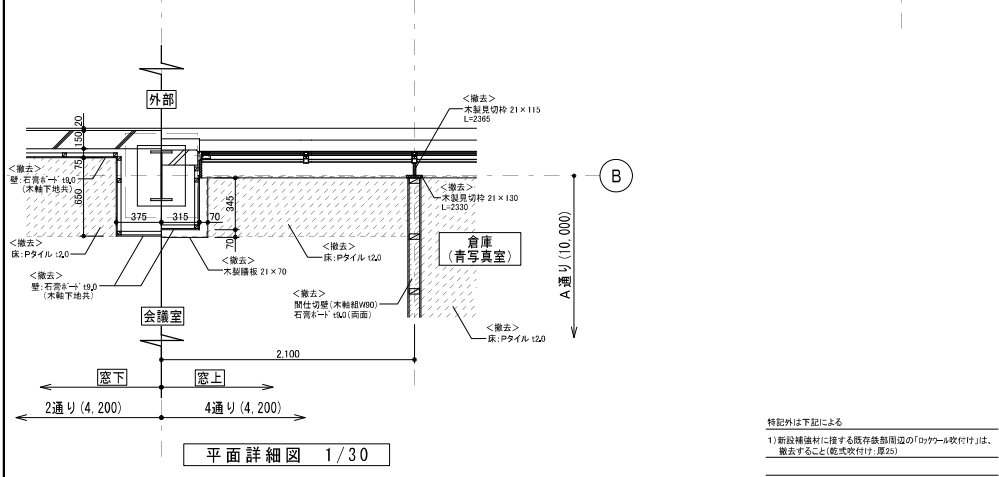
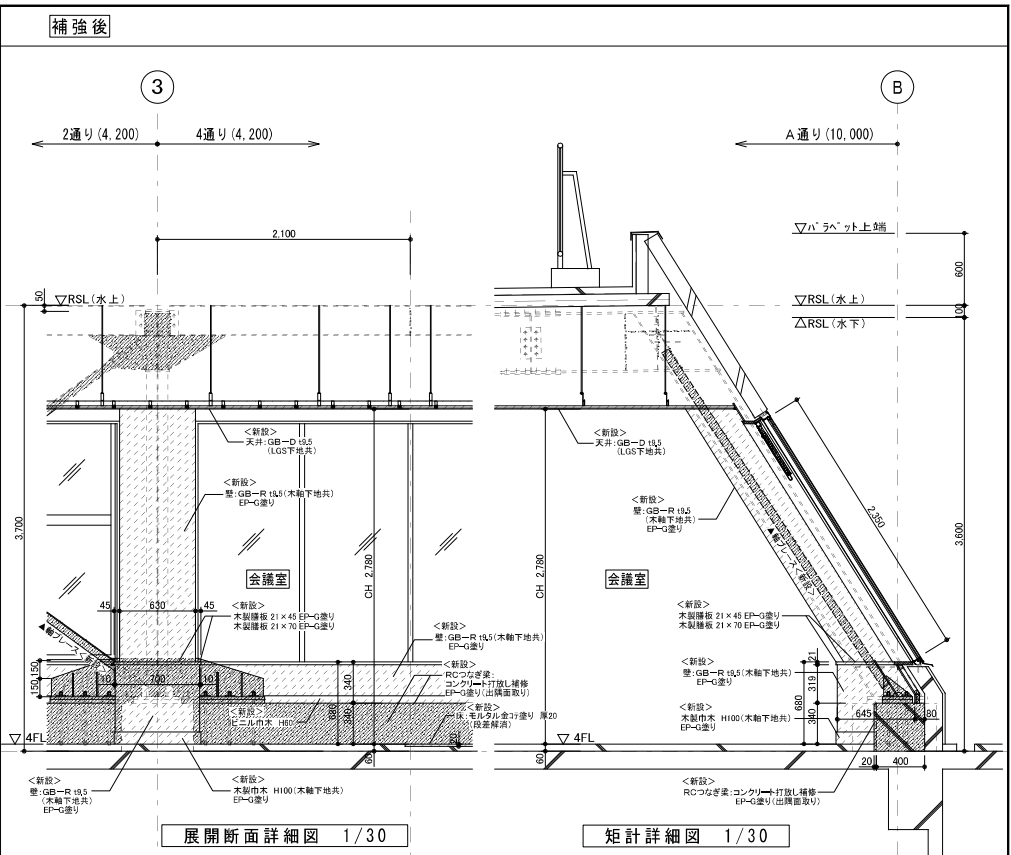
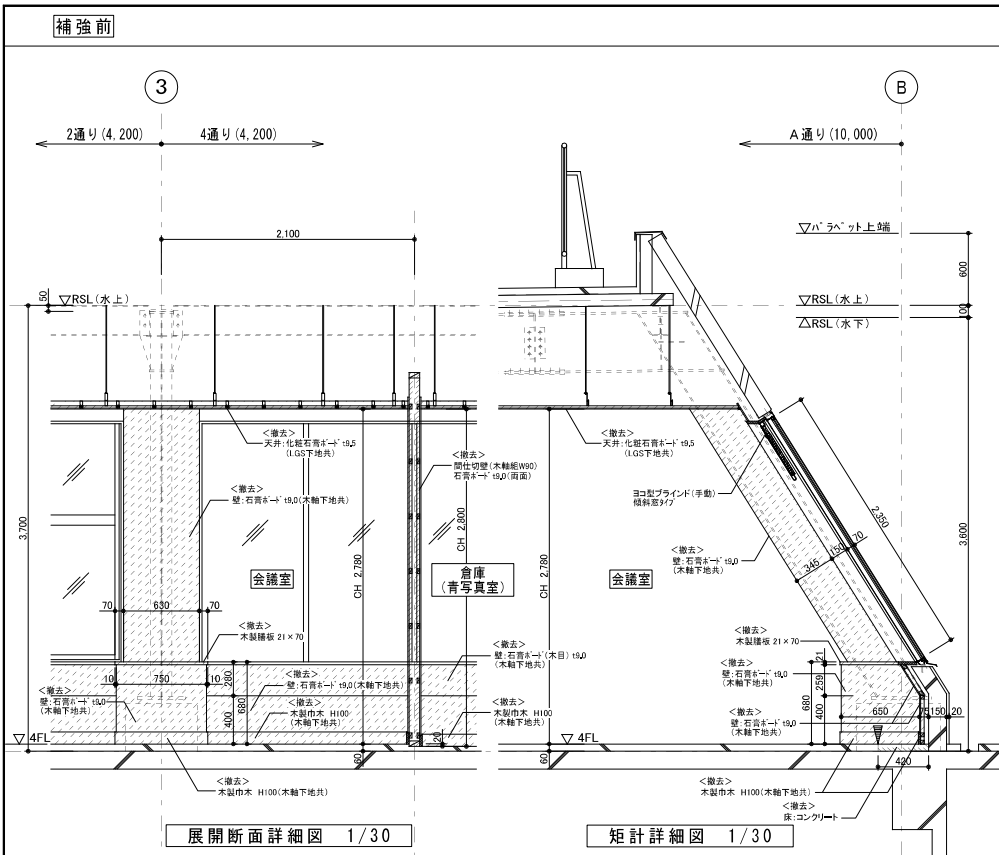
平面詳細図 1/30

特記外は下記による  
 1) 新設補強材に接する既存部は「D」カケ付けは、撤去すること(乾式吹付け工法)  
 2) 新設補強材に接する既存部は「D」カケ付けは、撤去すること(乾式吹付け工法)



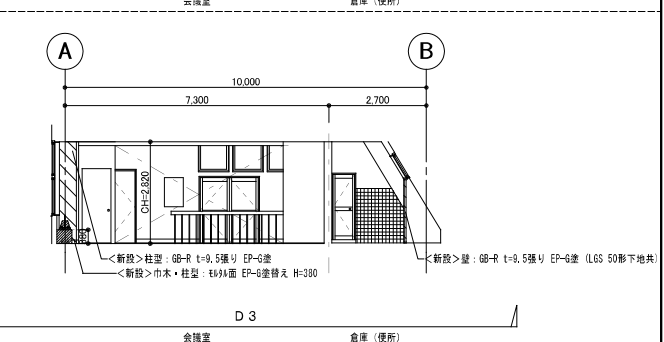
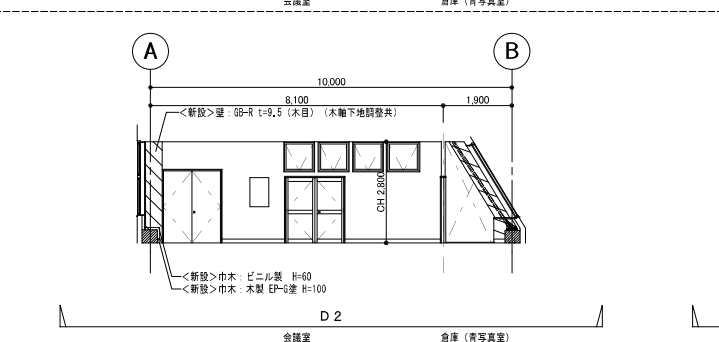
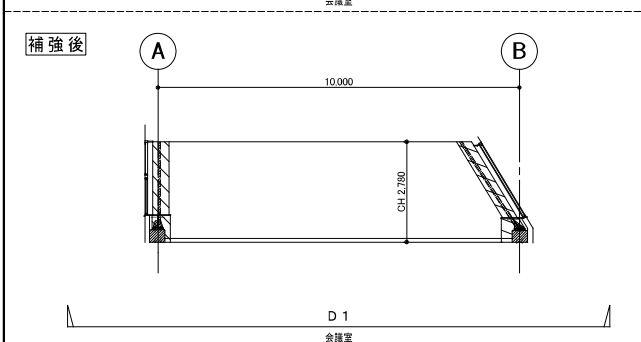
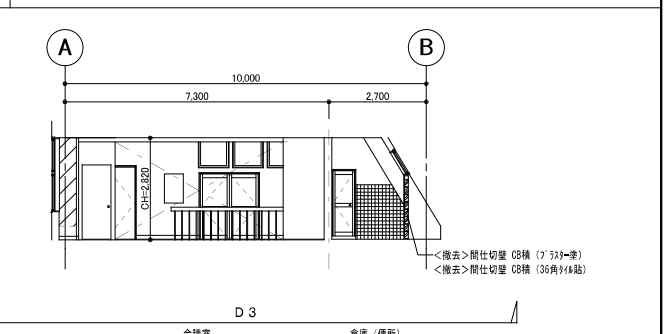
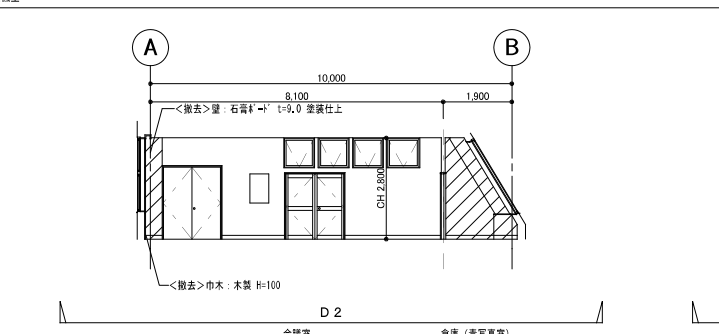
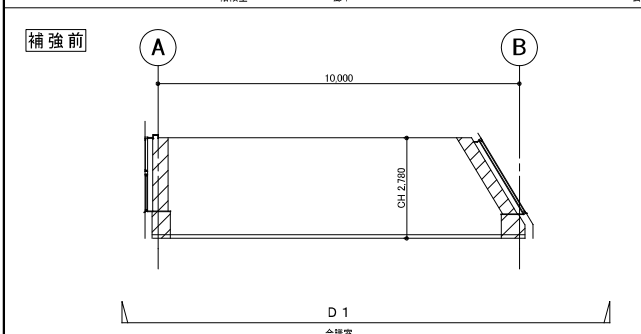
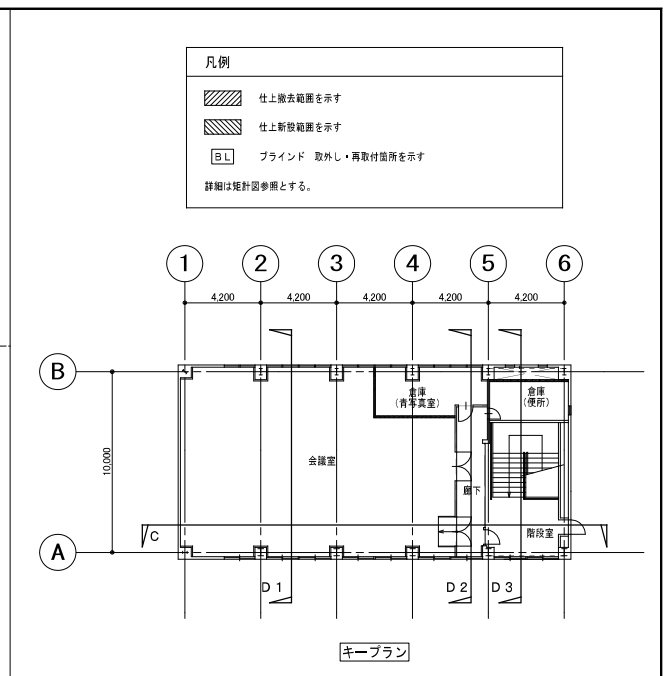
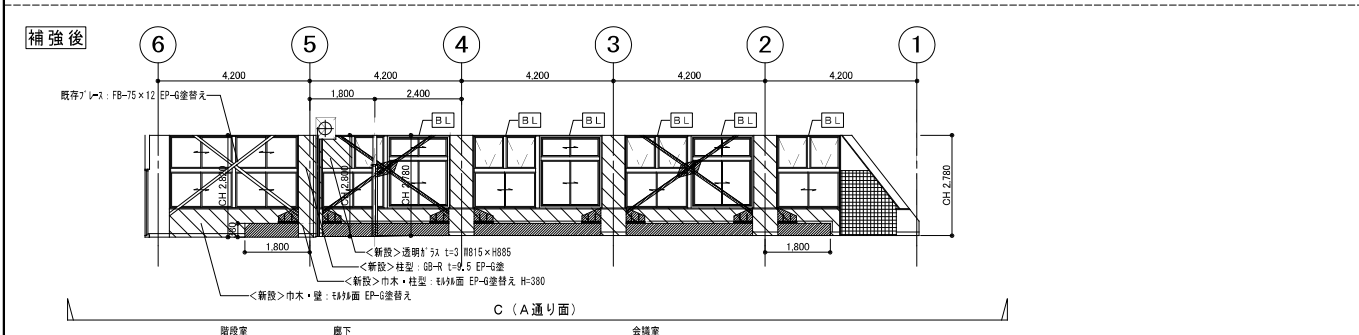
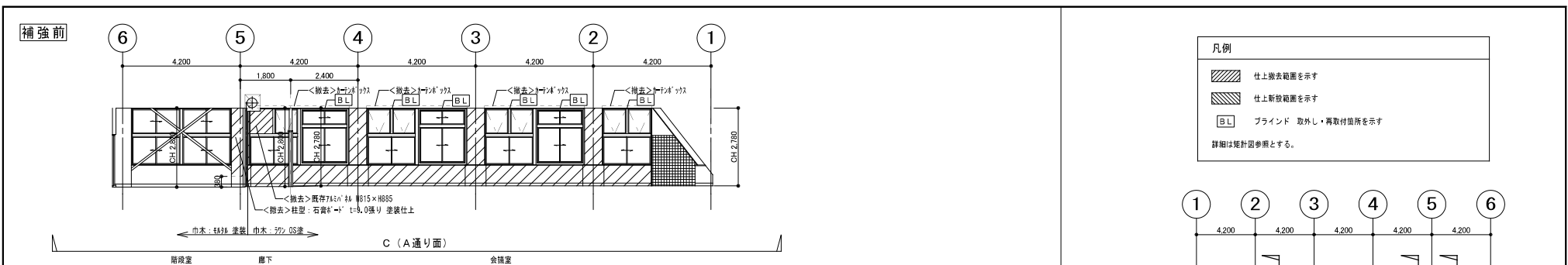
平面詳細図 1/30

特記外は下記による  
 1) 新設部の見え分け部分は、EP-G塗りとする  
 2) 既存部は「D」カケ付け(撤去部及び新設補強材は、「D」カケ付け)工法(乾式吹付け工法)新設とする

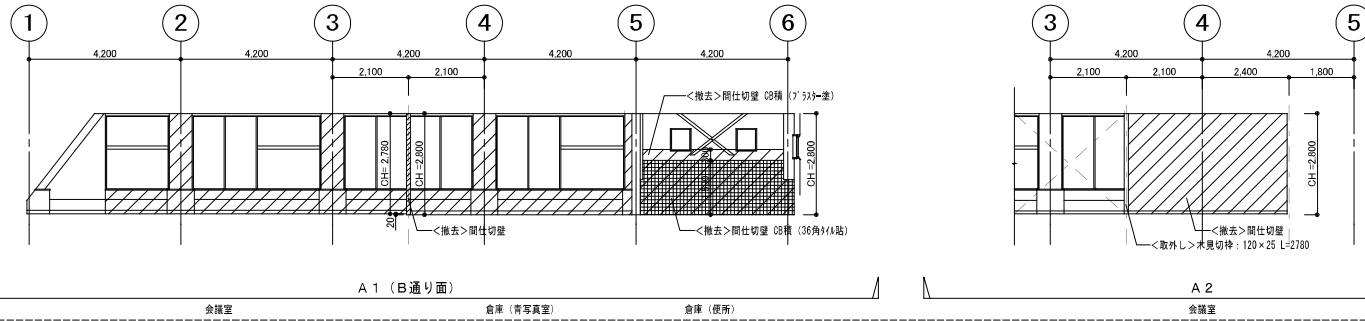


特記外は下記による  
 1) 新設補強材に接する既存構造物の「ロック」取付けは、撤去すること(乾式取付け工法)  
 2) 新設補強材に接する既存構造物の「ロック」取付けは、撤去すること(乾式取付け工法) 新設とする

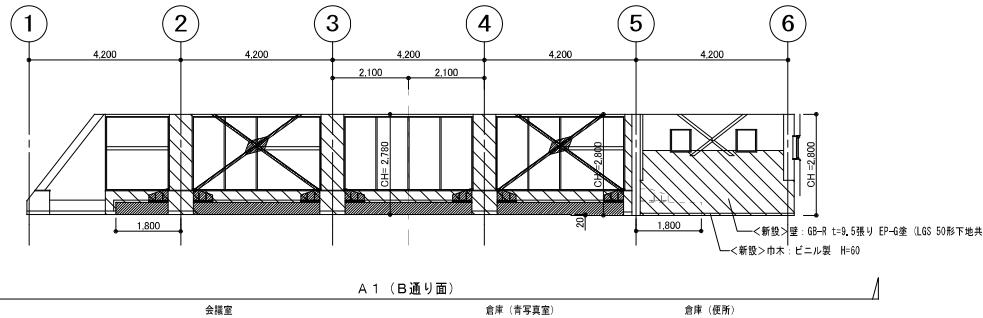
特記外は下記による  
 1) 新設部の見え掛り部分は、EP-G塗りとする  
 2) 既存部の見え掛り部分は、撤去部及び新設補強部は、「ロック」取付け工法(乾式取付け工法) 新設とする



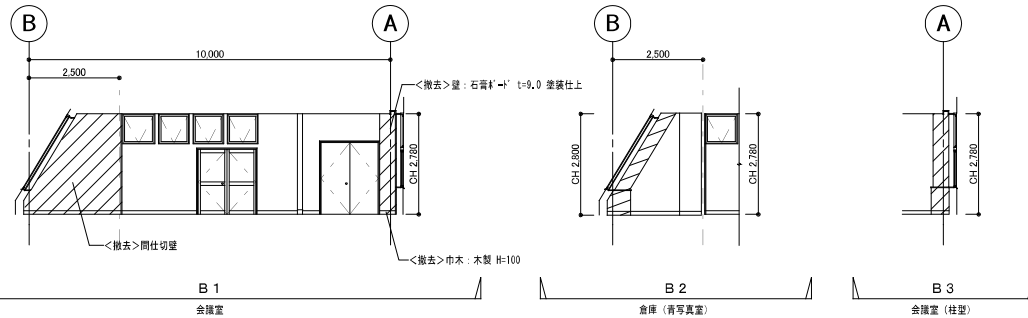
補強前



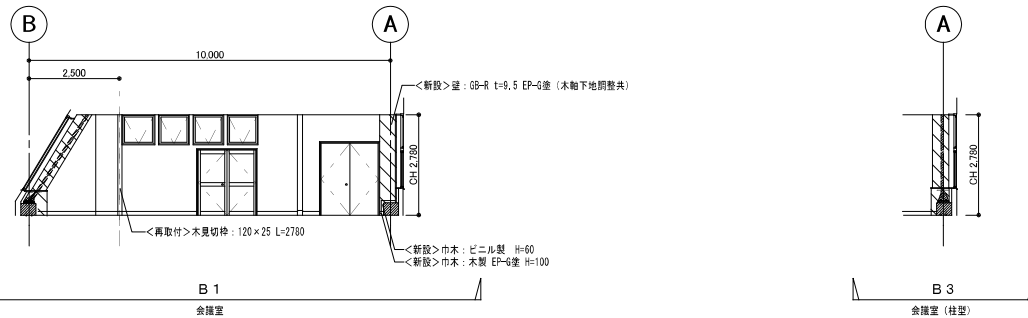
補強後



補強前

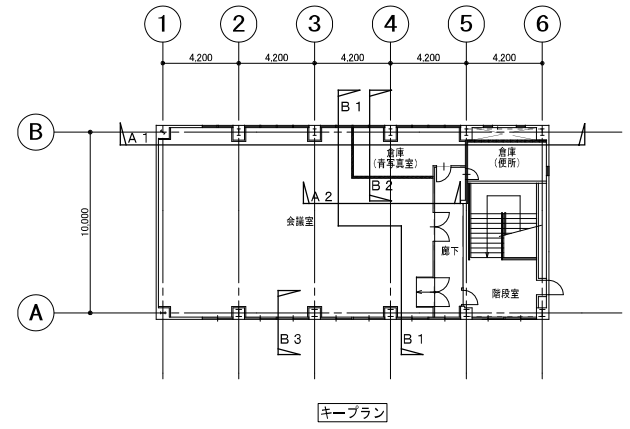


補強後



凡例

仕上撤去範囲を示す  
 仕上新設範囲を示す  
 詳細は断面図参照とする。



新潟市建築設計協同組合

担当設計事務所  
株式会社 コンフォルト

新潟市建築部公共建築第1課

工事名

白山浦庁舎7号棟 耐震補強工事

図名

展開図(2)

年月日 2013.3

縮尺 1/100

図面番号 A-15